

平成 24 年 1 月 30 日

各 位

株式会社リアルビジョン
代表取締役社長 杉山尚志
(コード番号 6786 東証マザーズ)

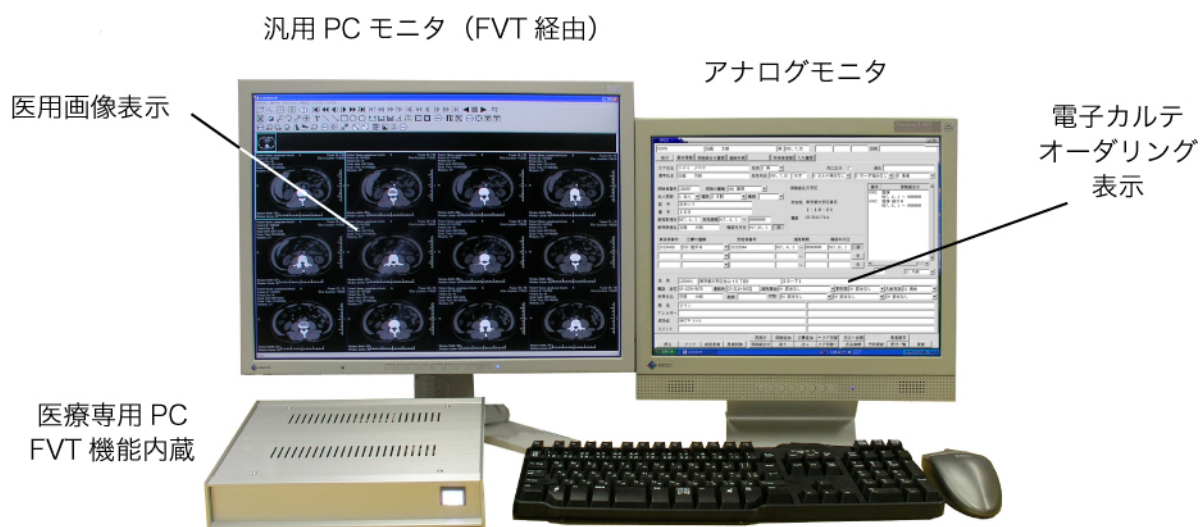
デジタル医用画像表示に最適な医療専用PCを開発

当社は、パートナー企業と協力し、医療専用 PC（以下、本製品）の試作機の開発を完了させ、今般、当該試作機で医療ベンダーへのマーケティング活動を開始いたしました。また、中国のマーケティング会社である Zhixin Consultant Co., Ltd. を介し、同国内でも本製品のマーケティング活動を進めてまいります。

本製品は、汎用 PC（パソコン）に当社が独自開発した FVT〔注 1〕機能を搭載し、汎用モニタを接続するだけで、デジタル医用画像（DICOM〔注 2〕画像）を表示する事が可能で、小型化を図り、省スペースで使い易さを追求した製品であります。さらに、正確なデジタル医用画像を表示するためのモニタ管理ソフトが標準添付される他、オプションで DICOM ビューワーもバンドルすることができます。

本製品により、電子カルテや X 線、CT などの画像診断結果の参照、さらにレセコンや病院情報システム（HIS）等医用画像の参照を行う診療室や看護ステーションなどで、コストパフォーマンスが高く、省スペースで効率的な医用画像参照システムの構築が可能になります。

以下に本製品を使用した医用画像参照システムのイメージを示します。

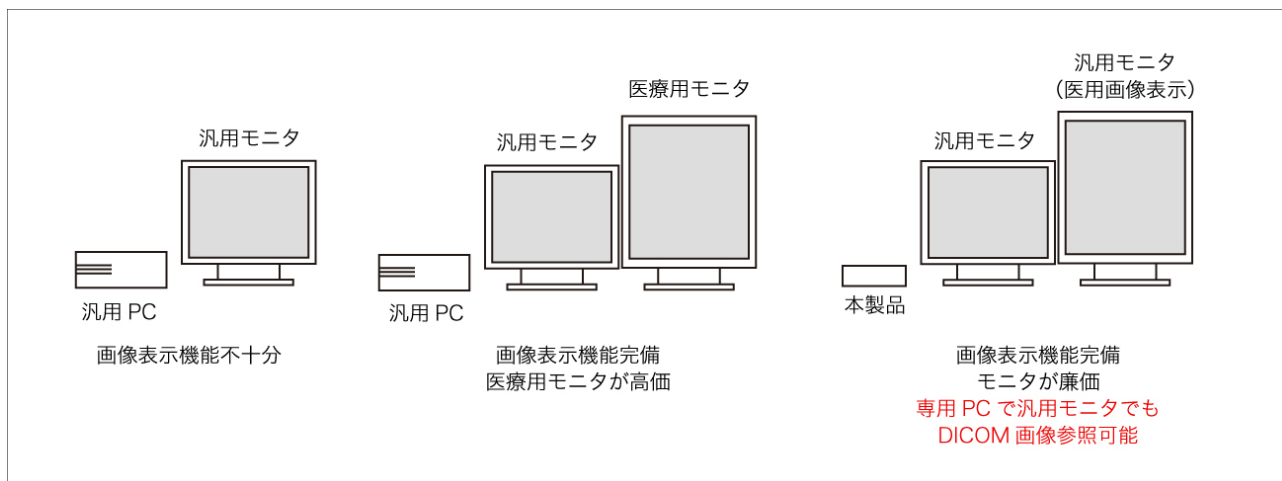


本製品の特徴を以下に示します。

- コンパクトで設置が容易
- 医療現場に最適な PC プラットフォーム
- 最新の CPU を使用し高性能を実現

- －電子カルテ+簡易 PACS を容易に実現
- －マルチモニタ表示
- －汎用モニタで DICOM 表示可能
- －10 ビット相当の高階調表示に対応
- －必要に応じて DICOM ビューワーを添付
- －モニタ管理が可能
- －優れたコストパフォーマンス
- －セキュリティ管理ソフト搭載

以下に電子カルテシステムでの比較図を示します。



[注 1] FVT(ファインビューテクノロジー)

当社が独自開発した、デジタル医用画像を汎用モニタ上で実現するための技術。DICOM キャリブレーションや、輝度均一化制御、モニタ管理機能などを、汎用モニタで実現することが出来る。

[注 2] DICOM

Digital Imaging and COmmunication in Medicine の略で、米国放射線学会 (ACR) と北米電子機器工業会 (NEMA) が開発した、CT や MRI、CR など撮影した医用画像のフォーマットと、それらの画像を扱う医用画像機器間の通信プロトコルを定義した標準規格のことである。

本製品は、平成 25 年 3 月期年第 2 四半期以降の供給を予定しています。

本件についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

問合せ先)

電話) 045-473-7331 営業部 山本 電子メール) rv-sales@realvision.co.jp

注) 本文中の各企業名、製品名等は、それぞれの所有者の商標あるいは登録商標です。

以 上